

宮島地区意見交換概要

日時 平成 26 年6月2日(月)

場所 宮島公民館

出席 23 名

No.	発言要旨	市長回答要旨
12-1	アウトレットモールに対する市の期待は大きすぎるとは思いませんか。一企業に多額の費用をかけることは、撤退の可能性なども踏まえると将来に不安を残す。	第6次総合計画で位置づけ、市民満足度調査の結果からアウトレットモール誘致に至った。三井不動産は、国内最王手で信頼できる企業であるし、当然、ビジネスとしても成り立つと判断しての進出なので心配ないと考える。
12-2	アウトレットによりたくさんの方が訪れるが、バスターミナル設置の考えはあるか。	交通渋滞が一番心配で、国道は国、県道は県、市道は市で整備すべく協議している。バスターミナルは、事業者で整備することになるので三井と協議している。
12-3	中山間地域におけるポンプや用水路が老朽化している。他市では負担金が少ない例もあるので対策を検討してほしい。県で中山間地向けの事業を実施しているので、小矢部市にも適用するよう要望してほしい。	地元の負担軽減については検討したい。県の事業については、宮島地区に適用できるか確認したい。
12-4	イノシシ被害が例年にも増してひどい。捕獲の講習や免許取得の助成があるが、取得に3日間要し、他にも医者診断書費用がかかるため、そこまでして免許を取ろうとする人は少ないのではないか。	免許取得に関する助成は新設したところで、いただいた意見を持ち帰って検討したい。
12-5	イノシシ罠に一度に5頭かかったが、大きな罠だとイノシシが動けるので危険性がある。処分する穴を掘るのが負担なので、捨てる場所があればよいと思う。	今年度は実証実験という形なので方策を検討していきたい。
12-6	大河ドラマ誘致はどのような状況か。	真田丸まで決まった状況。他自治体と連携し、署名活動などやるべきことを続けていきたい。
12-7	市議会議員の定数が現在16人。他市では2000人に1人の割合だが、定数についてどう考えているか。減らすという考え方が一般的だと思うが。	数を減らせばよいというものではなく、議論を活発にするためには相応の人数は必要と考える。議会で検討されると思う。

No.	発言要旨	市長回答要旨
12-8	市道認定された道で、舗装され水道管が通っているが地権者に税金がかかっている。市に相談したところ、測量してからでないと対応できないと言われた。水道管が通っているのに納得がいけない。	通常、市に寄付いただいているが、寄付するための分筆行為がなされていないと思われる。林道・農道から昇格した道など、買収を伴わないで市道認定されている道は結構ある。測量に高額のコストがかかるのがネックになっている。意見は持ち帰る。
12-9	宮島から稲葉山、そして田川への道は、観光コースでもあるので整備してほしい。	振興会から要望としてあげてほしい。
12-10	他の自治体では大きく立派な体育館があるが、小矢部市で新しく体育館をつくる予定はないのか。	市民体育館は耐震基準をクリアしているので、当面建設の予定はない。ただし、総合会館は改修が必要である。